



※同時記者発表 高松サンポート記者クラブ／徳島県政記者クラブ／池田記者クラブ／
四国中央記者クラブ／高知新聞社嶺北支局

吉野川上流部の効率的な整備を検討

～吉野川上流部の河川整備について幅広く治水対策を検討します～

◇四国地方整備局では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、個別公共事業評価を実施しています。

◇今後、吉野川上流部の整備について、計画段階評価を行うにあたり4県の意見を聴取します。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災向上プロジェクト」の取組に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省	四国地方整備局	電話：087-851-8061
河川部	地域河川調整官	松田 邦泰（内線 3517）
	河川計画課 建設専門官	山本 卓男（内線 3613）

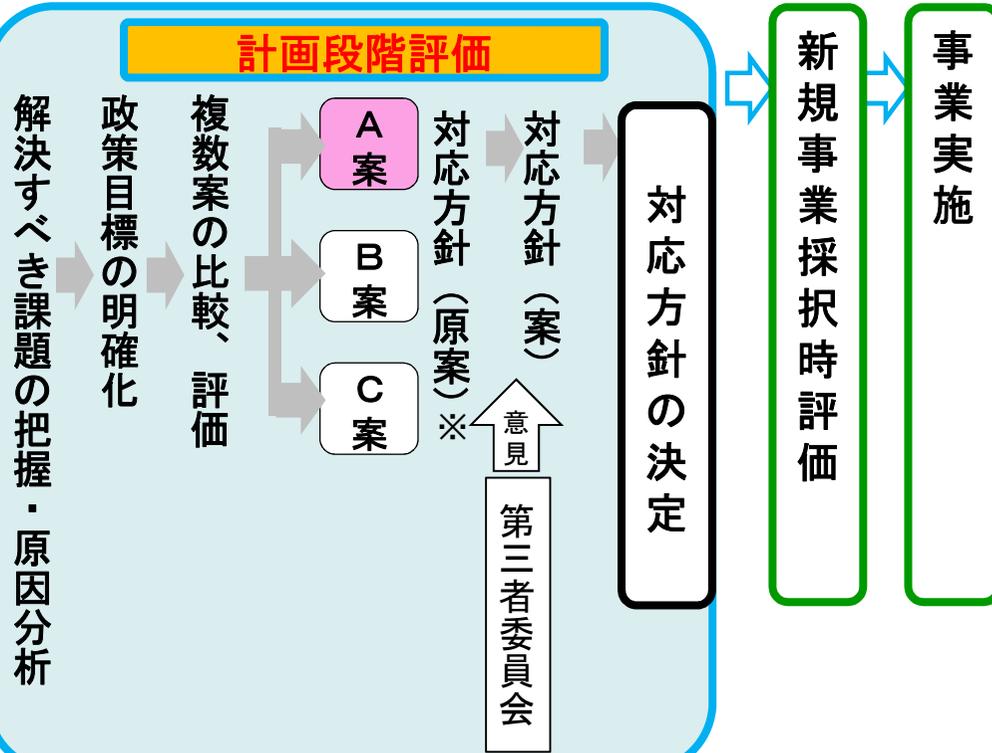
吉野川上流部 計画段階評価について

目的

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規事業採択時評価の前段階における国土交通省の独自の取組みとして、計画段階評価を直轄事業等において実施

- 地域の課題や達成すべき目標、地域の意見等を踏まえ、複数案の比較・評価を実施
- 事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証

新規事業の流れ



※関係する4県の意見を聴いた上で作成

評価結果及び対応方針等の公表

達成すべき政策目標

- 吉野川の治水安全度の向上

具体的な達成目標

- 戦後最大流量を記録し、甚大な浸水被害を発生させた平成16年10月の台風23号と同規模の洪水に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を防止する。

平成16年10月の台風23号及び同規模洪水の昭和49年9月洪水、平成17年9月洪水が発生した場合に、岩津上流の河道で洪水を安全に流下させることができる治水対策を立案、比較、評価する。

吉野川上流部 計画段階評価に向けた基礎資料

達成すべき政策目標

吉野川の治水安全度の向上

具体的な達成目標

戦後最大流量を記録し、甚大な浸水被害を発生させた平成16年10月の台風23号と同規模の洪水※に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を防止する。

※同規模の洪水は、昭和49年9月洪水、平成17年9月洪水である。

比較する複数案の例

(1)河道の掘削

【治水対策案の概要】

河川整備計画に盛り込まれている河道改修(河道掘削や築堤)を実施するとともに、流下能力が不足する箇所で河道掘削を行い、河道整備流量を安全に流下させる。



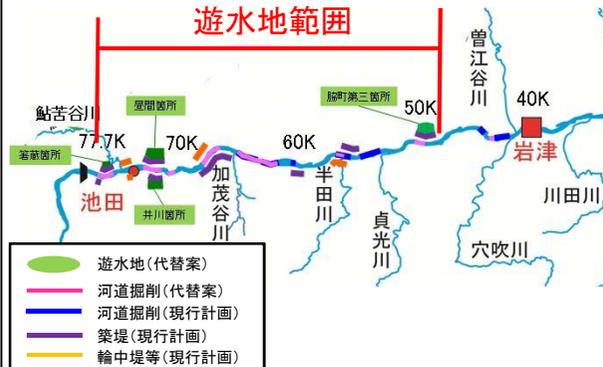
■河道掘削

土工	約 1,310千m ³
護岸	約 180千m ²
根固め	約 80千m ³

(2)河道の掘削+遊水地等

【治水対策案の概要】

河川整備計画に盛り込まれている河道改修(河道掘削や築堤)を実施するとともに、遊水地を建設し、遊水地の治水効果が及ばない遊水地よりも上流及び下流の治水効果が不足する区間において、河道掘削を行い、河道整備流量を安全に流下させる。



■河道掘削

土工	約 1,080千m ³
護岸	約 140千m ²
根固め	約 60千m ³

■遊水地

盛土、樋門、用地買収 一式

(3)ダム有効活用(治水ダム/容量増大)

【治水対策案の概要】

河川整備計画に盛り込まれている河道改修(河道掘削や築堤)を実施するとともに、早明浦ダムの洪水調節容量を他容量からの転用及び予備放流方式の導入により増大させるとともに、洪水吐きの増設などを行い、河道整備流量を安全に流下させる。



■早明浦ダムの洪水調節機能向上 一式

※文言や数量は作業中であり、今後変更する場合がある